

# TEGOネットだより浜田

はじめに

タイトルのデザインを変えて  
みました。いかがですか？

平成21年8月7日 第27号  
浜田市農林業支援センター

梅雨明けが8月に入るのは、昭和26年からの観測以来2度しかないそうです。長雨による日照不足などにより農作物に悪影響が出ており、病害虫による被害も予測されますので、防除などの適正管理が必要となります。これからは暑い日々が続くと思いますので、体調管理にも気を付けてください。  
(浜田市農林業支援センター長 齋藤 實)

## 1. 各支援チームからの話題

### 新規就農支援チーム (担当: <sup>まえばら</sup>前原・<sup>つかもと</sup>塚本)

### 研修希望者が農家を視察

浜田市は7月4日に大阪市で開催された「新・農業人フェア」で就農相談を実施し、**ふるさと農業研修生育成事業(平成21年度事業)**のPRを行いました。

その甲斐あって、これまで約10名の研修希望者が浜田での現地視察に参加されました。研修の受入先となる認定農業者と対面した参加者からは「魅力的な経営者のもとですぐに研修を始めたい」「農業の楽しさと厳しさを知った」といった様々な感想が聞かれました。

8月中旬には、いよいよ**農業研修生第1号**が受入農家での研修をスタートされます。研修生が今後も続々と誕生し、いずれは浜田に定住していただけるように応援していきたいと思っております。



### 認定農業者支援チーム (担当: <sup>まつい</sup>松井・<sup>まえばら</sup>前原)

### 金城の若旦那登場!

今回は、金城町小国の認定農業者 <sup>ふじわかまさひろ</sup>藤若将浩さんを紹介いたします。

藤若さんは、**水稲とピオーネの複合経営**に加え、野菜の栽培、冬場には加工品(もち)の製造・販売などに取り組んでおられます。

34歳という若さながら、地元の兼業・高齢農家の水田を引き受けつつ、「金城町ぶどう生産者協議会」の会長を務めるなど、これからの浜田の農業を背負って立つ担い手のひとりとして注目されています。

これまでは家族中心の経営でしたが、8月中旬からは市の事業を活用し、**農業研修生を受け入れる**ことになりました。手塩に掛けた加温ピオーネは間もなく初出荷。収穫作業に研修生への指導が加わり、一段と忙しい夏となることと思っておりますが頑張ってください!



甘~いピオーネを召し上げれ

### 集落営農組織支援チーム (担当: <sup>もりい</sup>森井・<sup>かまはら</sup>鎌原)

### (農)ひやころう波佐 情報交流会

7月26日、**農事組合法人ひやころう波佐**(金城町波佐)が**集落営農アドバイザー制度**を活用し、農事組合法人川平みどり(江津市川平町)の天野代表理事やアドバイザーである佐々木事務局長らを招かれました。

川平みどりからは、女性グループによる地産地消活動や伝統文化の継承など、地域農業や農村に貢献する様々な取組の紹介がありました。ひやころう波佐も、都市住民との交流活動や女性部による味噌加工などに取り組まれています。今回アドバイスを受けたことにより、ますます経営の多角化や地域貢献活動が進むことが期待されます。

終了後は「第4回ひやころう夏祭り」での情報・意見交換が大いに盛り上がり、有意義な交流となりました。



## 2. 「環境農業実践セミナー先進地視察研修」を開催しました



7月18日・19日に『環境農業実践セミナー先進地視察研修』を開催したところ、生産者を中心とする16名が参加されました。

初日は「兵庫県有機農業研究会モデル圃場学習会」に参加。モデル圃場の現状報告を受けた後、(株)ジャパンバイオフィームの小祝政明氏から指導と助言があり、生育・圃場状況に応じた具体的な対応策を得ることができました。

2日目に訪問した「徳島有機農業推進協議会」は、小祝氏や民間稲作研究所の稲葉光圀氏など、著名な指導者から

技術を学んでおられます。当日は生産者から、抑草対策のコツなど実践されている取組を惜しみなくご教示いただきました。

この研修が、有機農業手法の更なる習得とネットワークづくりに向けた第一歩になったと感じています。



## 3. 整理整頓で経営が良くなる？

7月22日に出雲市で開催された『経営能力向上講習会（主催：島根県担い手育成総合支援協議会ほか）』はユニークな講習会でした。

講師の山本浩通氏は宮崎県の獣医。畜産農家を巡回するうち、農業経営を改善するためには「技術」だけではなく「人」と「仕組み」が大切だと気付かれたそうです。具体的な手法として提案されたのは、整理整頓やメモの徹底、他のメンバーとの接し方に気をつけて楽しい農場にすること...など。その気になれば誰でも取り組めることばかりです。

著書にも目を通しましたが、分かりやすい文章と楽しいイラストで一気に読み終えました。たまには技術以外の視点から経営を見直してみるのも良いかもしれません。



## 4. 「第12回全国農業担い手サミットin埼玉」が開催されます

11月17日・18日に埼玉県で、「農の時代がやってきた！ 我らが担う日本の未来」をテーマに『第12回全国農業担い手サミット』が開催されます。

このサミットは、全国の農業担い手が一堂に会し、相互研鑽や交流により自らの経営改善と地域農業の発展に貢献することを目的としています。

初日に大宮ソニックシティで開催される全体会では、優良担い手表彰や事例報告などが行われ、その後は県内8カ所の地域交流会（情報交流会と現地研修会）において担い手同士の熱心な議論が交わされます。

サミットへの参加を希望される方は、8月20(木)までに当支援センターにご連絡ください。なお、**来年（平成22年）の全国農業担い手サミットは島根県において開催されます**のでご協力をよろしくをお願いします

日時：11月17日(火)・18日(水)

会場：大宮ソニックシティ（埼玉県さいたま市）ほか

埼玉県ホームページ <http://www.pref.saitama.lg.jp/A06/BB00/summit/index.html>



当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様にご配信中です。  
ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

発刊元 浜田市農林業支援センター

〒697-0024 島根県浜田市黒川町 3741 (JAいわみ中央本所分館 2階)

TEL: 0855-22-3500 FAX: 0855-22-3477 E-mail: n-shien@city.hamada.shimane.jp